

## ◎ 運営委員会だより < 24期運営委員の感想 >

●●●●●  
移住三年目にして八ヶ岳ふるさと倶楽部の運営委員を受けました。過ぎてみればあっという間の二年間でした。

一年目は何も判らない状態で前期メンバーに助けられながら自分なりに出来ることを探して活動し色々な体験が出来て良かったと思っています。

代表になってからは、たくさんの新入会員を受け入れることができた事、ふるさと祭りをはじめとする行事に多くの参加がありお互いに楽しめた事が印象に残っています。貴重な体験をこれからの人生で役立てられると良いのですが..。

●●●●●  
2年間を思い出しますと、始めは見よう見まねで過ごしました。行事担当をするようになると、準備では人数が集まるかドキドキし、当日は参加された方々と一緒に日常を少し越えた活動を楽しむ自分がおりました。ふるさと祭りはかつての学園祭気分にも似て体力勝負をし、若返ったようでした。会報担当のお陰で一言一句に親しむ感じを取り戻しました。感謝です。

●●●●●  
運営委員を任されてからの2年間を振り返りますと、最初の1年目は何も分からない状態で、23期の方々のご指導のもと補佐を務めさせていただきました。

そして2年目からは24期が主体となって、私は事務局を担当させていただきましたが、大変なことも多くありました。その一方で、それ以上に学んだこと、楽しいことややりがいも多く、何よりもたくさんの会員の皆さまと出会えたことが、運営委員として活動する中で一番の喜びでした。

●●●●●  
移住して1年が経とうとする頃から始まった2年間の運営委員としての活動は、本当に目まぐるしい日々でした。友人もおらず、車の運転にも不安があり、ひとりでは思うように動けなかった私が、「ふるさと倶楽部」を通して、行事をきっかけに知り合った先輩方や、ランチを共にする友人ができ、さらにはスポーツや趣味のつながりも生まれました。大変なことも多くありましたが、それも含めて、八ヶ岳でのこれからの暮らしにとって大きなプラスになったと感じています。

●●●●●  
移住2年目に引き受けた運営委員でしたが、活動の一つ一つがこれから八ヶ岳南麓で暮らす糧になりました。一緒に動いた委員の方々から、訪ねて行った会員の方々から受け取るものが多く、生活に格段の幅と深さを頂けたと感謝しています。委員だからこそ実感できた感覚を、会員の皆さんとも共有できる倶楽部活動を考えていけたらと思います。

●●●●●  
和蓮という名は～多様性との融合～笑顔で皆様と繋がっていききたい！と勢いだけでスタートした2年間でした。何だかんだ有りましたが楽しかったです。なので26期にて再スタートを決意しました。今の目標は「楽しそうだから私も入会したい！行事や同好会に参加してみたい！」そんな空気感や輪を広げていきたい。

## ◎ < 26期運営委員紹介 >

●●●●●  
小淵沢生まれ、小淵沢育ち代々続く石材店の四代目伊藤和智と申します。

自宅と老後移住の義父の住宅とを情報館さんつながりでお世話になった関係から、ふるさと倶楽部にお誘いいただきました。

学校卒業後に東京で就職いたしましたが、田舎には都会の水が合わず、帰郷し家業を継いでおります。一度外に出てみたことで八ヶ岳のすばらしさがはっきりとわかりました。そんな私の生まれた八ヶ岳を気に入って移住して来ていただいた皆さんに、もっと八ヶ岳暮らしを楽しんでいただき、もっと好きになっていただけるよう活動のお手伝いをしていきたいと考えております。

●●●●●  
明石出身、東京で会社勤めを経て八ヶ岳で4代目の石材店に嫁いで26年になります。(ちょうど運営委員の期と同じです！)今はここが私のふるさとだと思っています。ふるさと情報館に勤めていた時期もあり当時からよくしていただいた方も多く、心強いです。この地で3人の子育てをし、地域の役も毎年のようにあって、なんだかいつもバタバタしています。こんなザルの私ですが、ぜひ温かく見守っていただければと思います。

